

「経カテーテル大動脈弁置換術において術前大動脈弁逆流と術後の人工弁周囲逆流が術後の左室リモデリングに与える影響—後ろ向き観察研究—」
についてのご説明

- はじめに
経カテーテル大動脈弁置換術は近年急速に普及してきていますが、人工弁留置後の中等度以上の弁周囲逆流は術後の左室構造の改善を阻害し予後を悪くすることが報告されています。しかし、術前の大動脈弁逆流の存在と術後の弁周囲逆流、左室構造の改善との関連は明らかではありません。
- 研究対象
当院において2015年2月1日から2017年8月31日までの間に大腿アプローチの経カテーテル大動脈弁置換術を受けられた方42名を対象にしています。
- 研究内容
術前と術直後、術後約6ヶ月の心エコーデータを比較して、術前の大動脈弁逆流症と術後の人工弁周囲逆流、術後の左室構造の変化との関連性を検討します。なお、この研究を行うことで患者さんに通常診療以外の余分な負担は生じません。
- 患者さんの個人情報の管理について
本研究では個人情報の漏洩を防ぐため、個人を特定できる情報を削除し、データのデジタル化などの厳格な対策を取っています。本研究の実施過程及びその結果の公表の際には、患者さんを特定できる情報は一切含まれません。
- 患者さんがこの研究に診療データを提供したくない場合
2015年2月1日から2017年8月31日までの間で、当院で大腿アプローチによる経カテーテル大動脈弁置換術を受けられた方の中で、この研究にデータを提供したくない方は、下記までご連絡ください。ただし、ご連絡をいただいた時点で既に、研究結果が論文などに公表されている場合や研究データの解析が終了している場合には、解析結果等からあなたに関するデータを取り除くことができず、研究参加を取りやめることができません。
- 研究期間
病院長承認日から平成31年3月31日まで
- 利用する情報
カルテ情報：年齢、性別、身長、体重、合併症などの基礎情報
検査情報：血液検査結果、心エコー結果
- 研究責任者
札幌医科大学 麻酔科学講座 助教 吉川裕介
- 医学上の貢献

研究成果は経カテーテル大動脈弁置換術の術中評価において、より良い判断に結びつくことが期待されます。

● 問い合わせ先

〒060-8543 北海道札幌市中央区南1条西16丁目

札幌医科大学附属病院 麻酔科

研究責任者 助教 吉川裕介，研究分担者 准教授 枝長充隆

札幌医科大学附属病院 循環器・腎臓・代謝内分泌学講座

研究分担者 助教 國分宣明

札幌医科大学附属病院 心臓血管外科

研究分担者 助教 原田亮

【平日】 TEL (011) 611-2111 (内線 35680) 麻酔科教室

【休日・時間外】 TEL (011) 611-2111 (内線 34680) 麻酔科病棟